

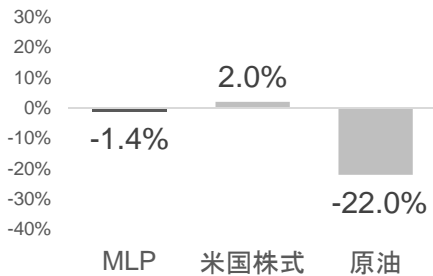
■ 当月のS&P MLP 指数の動き

1月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+13.2%と5か月ぶりに上昇しました。

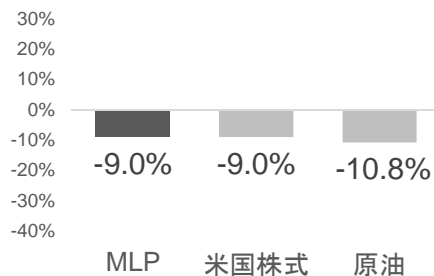
金融市場では、通商摩擦を巡る米中の交渉進展への期待が広がったことや米金融政策について緩和的な姿勢が示されたことなどを背景に、投資家心理が改善する展開となりました。このような中、原油価格が大きく上昇したことなども支援材料となり、MLPは大きく上昇しました。

■ 過去3カ月の主要指標の月次騰落率(米ドルベース、トータルリターン)

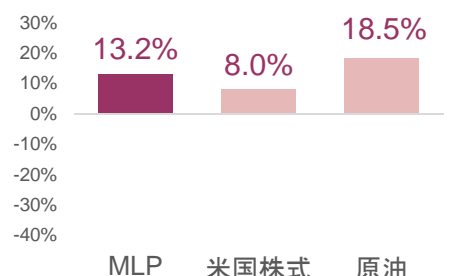
2018年11月



2018年12月



2019年1月



■ 主要指標の動き

MLP: S&P MLP 指数、米国株式: S&P 500 種指数、原油: WTI

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	2019/1/31	2018/12/31	2018/10/31	2018/12/31	前月末比	3ヵ月前月末比	前年末比
S&P MLP 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	4,579.99	4,047.51	4,513.57	4,047.51	13.2%	1.5%	13.2%
プライスリターン	1,423.04	1,268.20	1,432.15	1,268.20	12.2%	-0.6%	12.2%
S&P 500種 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	5,383.63	4,984.22	5,369.49	4,984.22	8.0%	0.3%	8.0%
プライスリターン	2,704.10	2,506.85	2,711.74	2,506.85	7.9%	-0.3%	7.9%
S&P 500種 エネルギー株指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	841.26	757.14	881.50	757.14	11.1%	-4.6%	11.1%
プライスリターン	470.81	424.07	497.37	424.07	11.0%	-5.3%	11.0%
S&P 米国 REIT 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,330.35	1,190.35	1,235.85	1,190.35	11.8%	7.6%	11.8%
プライスリターン	322.06	288.67	302.69	288.67	11.6%	6.4%	11.6%
米国ハイイールド債 (ICE BofA Merrill Lynch 米国ハイイールド・インデックス (米ドルベース))							
トータルリターン	1,290.27	1,233.61	1,272.80	1,233.61	4.6%	1.4%	4.6%
プライスリターン	74.65	71.75	74.86	71.75	4.0%	-0.3%	4.0%
米国10年国債利回り							
	2.63%	2.68%	3.14%	2.68%	-0.05	-0.51	-0.05
原油 (WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	53.79	45.41	65.31	45.41	18.5%	-17.6%	18.5%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	2.81	2.94	3.26	2.94	-4.3%	-13.7%	-4.3%
米ドル (対円)							
	108.89	109.69	112.94	109.69	-0.7%	-3.6%	-0.7%

※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ 当月の出来事いろいろ

- S&P MLP 指数の時価総額構成上位銘柄である「エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ」、「マゼラン・ミッドストリーム・パートナーズ」、「MPLX」などが、2018年10-12月期の分配金について前期比増配を相次いで発表し、投資家心理を支える要因となった。
- 資本関係の簡素化のため、S&P MLP 指数の上位銘柄である「エンリンク・ミッドストリーム・パートナーズ」は「エンリンク・ミッドストリーム」に統合されることとなり、25日に実行された。
- 通商摩擦を巡る米中の交渉進展への期待が広がったことや米金融政策について緩和的な姿勢が示されたことなどを背景に、投資家心理が改善する中、サウジアラビアが1月に原油の輸出削減を計画していると報道されたこともあり、原油価格は初旬に大きく上昇した。12月に1バレル＝42米ドル台まで下落したWTI原油先物価格は、1月9日に50米ドル台を回復した。なお、その後も月末にかけても堅調な推移を続けたことから、WTI原油先物価格は30日に54.23米ドルまで上昇した。
- 23日、フランスの外相が、米国が再発動した対イラン制裁を回避するため、米ドルで決済しない取引システムを数日中に構築すると発言し、原油需給が緩むとの観測が広がったものの、28日、米政府がベネズエラの国営ベネズエラ石油(PDVSA)を、同国における反米左翼政権の資金源になっているとして、制裁対象にすると発表したことを受け、世界的な原油供給過剰への懸念が後退した。

■ 今後の注目点

- 2019年1月から6か月間、OPEC(石油輸出国機構)の加盟国・非加盟国による合計で日量120万バレルの減産が始まった。これにより、米国で原油増産が続いた場合でも、原油の大幅な供給増が回避されることが期待される。

■ MLPの分配金動向

決算シーズンの際、MLP各社は、決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。1月から公表が始まっている、MLPの2018年10-12月期の分配金動向は、2019年1月31日現在で、指数構成銘柄(49銘柄、2018年12月末時点)のうち、**40社の発表が終了しており、前期比での増配は20社、横ばいが20社、減配が0社**となっています。

<S&P MLP 指数の上位構成銘柄*と株価の月次騰落率>

2019年1月末現在

*上位構成銘柄は、2018年12月末時点

順位	銘柄名	業種 (事業分類)	2018年7-9月期		2018年10-12月期	
			分配伸び率 (前期比)	分配伸び率 (前年比)	分配伸び率 (前期比)	分配伸び率 (前年比)
1	エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ	石油・ガス 貯蔵・輸送 (川中)	0.6%	2.4%	0.6%	2.4%
2	エナジー・トランスファー		0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
3	マゼラン・ミッドストリーム・パートナーズ		2.1%	8.0%	2.0%	8.4%
4	プレーンズ・オール・アメリカン・パイプライン		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	MPLX		1.6%	8.5%	1.6%	6.6%
6	ウェスタン・ガス・パートナーズ		1.6%	6.6%	1.6%	6.5%
7	バックアイ・パートナーズ		-40.6%	-40.6%	未発表	
8	エンリンク・ミッドストリーム・パートナーズ**		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	トールグラス・エナジーGP		2.5%	43.7%	2.0%	41.5%
10	プレーンズGPホールディングス		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づく、事業分類は、日興アセットマネジメントによるもの
※2018年10-12月期の分配伸び率は、2019年1月31日時点で確認できたもの

** 1月25日に、「エンリンク・ミッドストリーム」に統合された。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

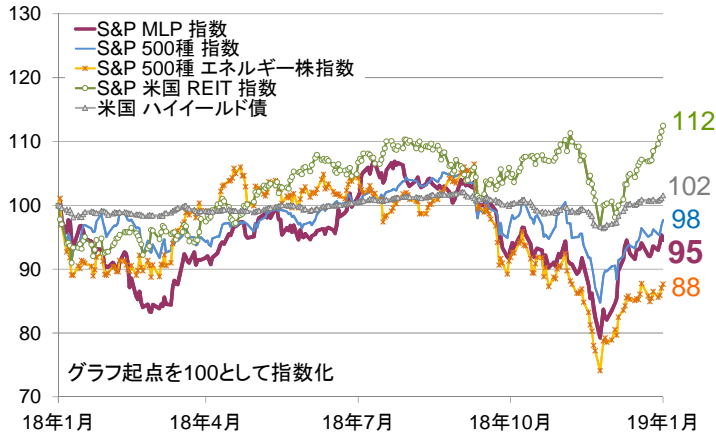
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

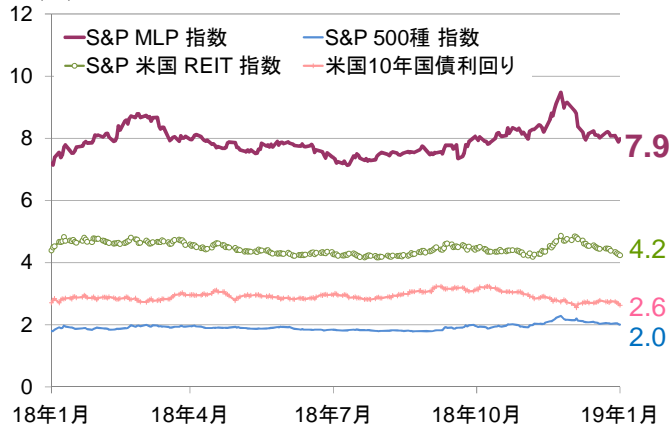
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2018年1月末～2019年1月末)



■各資産の利回り

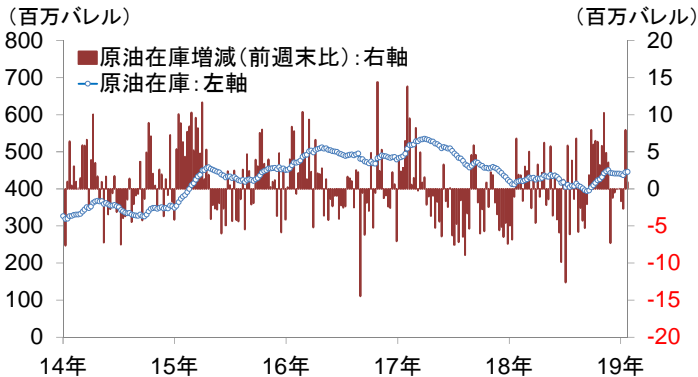
(%) (2018年1月末～2019年1月末)



※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

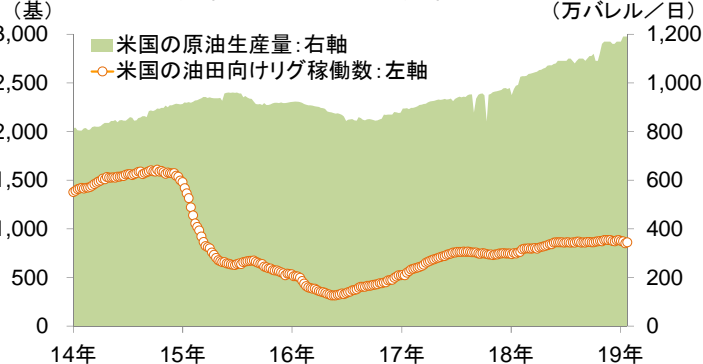
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2019年1月第4週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2019年1月第4週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給悪化懸念(改善期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給悪化懸念(改善期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2019年1月31日)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル高基調が強まる場合、割高感などにより、原油価格に押し下げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。